

# 黄化えそ病の蔓延防止対策

町内では、昨年から今年にかけ、ピーマン、菊、トマトで、黄化えそ病（病原は植物ウイルスのTSWV: Tomato Spotted Wilt Virus）の発生が確認されています。被害拡大を防ぐために、発生株の適正処理にご協力をお願いします。

## 病徴

トマト



ピーマン



菊

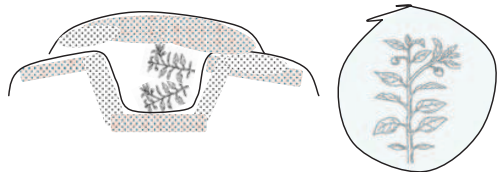


このウイルスはアザミウマ類によって媒介され、寄主範囲も広い（トルコギキョウ、馬鈴薯等）ことから、今後さらに発生が広がる恐れがあります。

## 対策

### ①発病株の除去、隔離

感染株は伝染源となるため、発病した株は速やかに抜き取り、土中に埋めるか、ビニル袋等に入れ処理する



### ②生産農家での対策

- 1) アザミウマ類（スリップス）の防除
- 2) ほ場周辺の除草
- 3) 施設栽培ではUVカットフィルム及び防虫ネット等の利用
- 4) 粘着トラップ設置
- 5) ほ場管理の留意
  - スリップスの越冬・増殖をさけるため、施設栽培では被覆を剥ぐか開口し、ハウス内を低温にする。
  - 残渣に保毒スリップスが飛来し感染源となるので、栽培終了株は株元を切断し完全に枯らせて処分するなど、生気のある残渣のまま露地状態で放置しない。

### ■問い合わせ先

熊本県上益城地域振興局長地域振興局農林部農業普及・振興課  
野菜産地づくり支援班 TEL: 096-282-2080  
上益城農業協同組合第3営農センター (73-1250)

## 菅尾小製茶品評会

7月2日、菅尾小学校体育館で製茶品評会が行われました。この品評会は地域の方々に協力をいただいで、今回13点の出品がありました。品評会後はPTAで販売、売り上げは子どもたちの教材などに使われます。



審査は上益城地域振興局農林振興課の職員が行いました。審査終了後、子どもたちに審査の仕方などを説明し、実際に子どもたちも見比べていました。

## よりよい品質を（出荷査定会）



7月2日、蘇陽地区夏秋野菜の合同出荷査定会が蘇陽総合支所営農ホールで行われました。熊本経済連や各野菜市場からの今年の情勢報告のあと、品目別の規格などについて説明があり、参加者は熱心に聞いていました。



1 ポンプ車の部で準優勝した8分団。奥から古閑裕樹1番員、佐藤友治2番員、高木大輔3番員、丸山智史4番員。古閑さんと佐藤さんは最優秀選手に選ばれました。

2 指揮者としてチームを率いた増田栄治さん。



# 消防の魂が火花散らす

～上益城郡消防大会～

上益城郡消防大会が7月24日、よ風パークで行われ、郡内の消防団を代表する精鋭たちが、練習で磨き上げた操法技を競い合いました。大会には、小型ポンプの部に11チーム、ポンプ車の部に4チームがエントリー。山都町消防団からは小型ポンプの部に第3分団、第6分団、第13分団、ポンプ車の部に第1分団、第8分団が出場しました。

審査の結果、ポンプ車の部で第8分団が準優勝し、8月22日荒尾市で行われる県大会上益城郡代表として出場します。また、同じポンプ車の部3位に第1分団が入りました。

## 結果

- 小型ポンプの部
- 優勝 益城町消防団第4分団
  - 2位 嘉島町消防団第1分団
  - 3位 益城町消防団第5分団
- ポンプ車の部
- 優勝 甲佐町消防団第2分団
  - 準優勝 山都町消防団第8分団1部
  - 3位 山都町消防団第1分団1部

3 ポンプ車の部3位の第1分団1部。操法後、指揮者に報告。

4 操法開始の合図を待ちます。第3分団。

5 連日の練習はこの日のため。第13分団。

6 目標に向けて放水。第6分団。



水しぶきを上げスタート

世界最短の鉄人レース  
7月25日、県内外から馬見原商店街に集まった約200名が参加。馬見原橋下をスタート、ゆつくり五ヶ瀬川をのぼり、県境の両国橋をわたってゴールを目指す予定でしたが、しばらくして突然の雷鳴とともに大粒の雨。川登りを切り上げて、馬見原商店街歩きのみとなりました。それでも参加者は、商店街からの商品を「モライ」、大満足の笑顔でゴールしていました。

## モライアスロン